令和4年1月14日

保護者の皆様

コロンボ日本人学校
校長　大　森　　伸

令和3年度　第2回　学校評価アンケート結果について

保護者の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年１２月に実施しました今年度第２回目の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。皆様からのご意見と教職員が行った学校評価結果から学校の課題を見つけ、その対応策等について検討させていただきました。

下記は、アンケート結果と今後の学校運営の改善策等を掲載いたしましたので、ご一読いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

４:よくあてはまる　３:ほぼあてはまる　２:あまりあてはまらない　１:全くあてはまらない　？:よくわからない

※平均が3未満については赤字に、1回目の評価より下がった数値は*斜体*にしています。（全7家庭回答）
※No.の黄色の網掛けの項目は、お子さん一人一人について回答していただいています。(9名分)

No.	評　価　内　容	評　価					第2回平均		第1回平均	
		4	3	2	1	?	保護者	教　師	保護者	教師
1	お子さんは誰にでも元気にあいさつしている。	5	3	1	0	0	*3.44*	3.20	3.50	3.20
2	お子さんは人に言われなくても自分から行動できるようになった。	1	7	0	0	1	3.13	3.00	2.75	2.80
3	お子さんは学習だけでなく、何にでも一生懸命取り組んでいる。	3	6	0	0	0	3.33	3.60	3.25	2.60
4	教職員は児童生徒の模範となるように何事にも率先垂範して行動している。	4	1	1	0	1	3.50	3.00	3.33	3.00
5	学校は、教育目標や経営方針をわかりやすく伝えている。	4	2	1	0	0	3.43	*3.40*	3.33	3.60
6	学校は、ホームページや各種たより等で、子供たちの様子や学校の教育活動を伝えている。	5	2	0	0	0	*3.71*	*3.80*	4.00	4.00
7	学校は保護者アンケート等の結果を受け、迅速に対応している。	4	2	0	0	1	*3.67*	3.40	4.00	3.25
8	学校は、学習に適した教室環境、施設設備の整備。充実に努めている。	3	2	0	1	1	*3.17*	3.20	3.33	3.00
9	学校は、事故防止・感染予防対策等、子供たちの安全確保に十分努めている。	3	2	1	0	1	*3.33*	*3.60*	4.00	3.80
10	お子さんは学校生活を楽しいと感じている(言っている)。	4	5	0	0	0	*3.44*	3.40	3.50	3.20
11	学校は、個に応じた指導を行い、基礎基本の定着に努めている。	5	1	1	0	2	3.57	*3.20*	3.50	3.40
12	学校は、休校時のオンライン授業や基本的生活習慣の保持等、迅速かつ丁寧に対応している。	4	1	1	0	1	3.50	3.60	3.50	3.60
13	お子さんは授業がわかりやすいと感じている(言っている)。	4	5	0	0	0	*3.44*	3.50	3.50	3.50
14	学校は、自分の思いを伝える力(表現力)や自ら学ぼうとする力の育成に努めている。	5	1	1	0	0	3.57	3.00	3.33	3.00
15	学校は、英語力を高める教育の充実に努めている。	4	0	2	0	1	*3.33*	*3.20*	3.67	3.25
16	学校は、日本文化の継承や異文化理解の教育を行う等、国際理解教育の充実に努めている。	4	2	0	0	1	3.67	3.00	2.50	2.80
17	学校は、日頃から子供たちに目を配り、いじめやその他の問題に迅速かつ丁寧に対応している。	4	5	0	0	0	*3.44*	*3.40*	4.00	3.50
18	学校は、教育相談やアンケートを通して、子供たちの悩みを把握し、適切に対応している。	3	2	2	0	2	*3.14*	*3.40*	4.00	3.50
19	学校は、保護者と連携を図り、子供たちの指導に生かしている。	4	1	2	0	2	*3.29*	3.40	4.00	3.40
20	オンラインによる学校の連絡等を行っているが、プリントによる連絡等と比べて、利用しやすくなった。	3	3	0	0	1	3.50	*3.20*	3.33	3.40

《課題の考察と改善策》

今回、評価が3未満の項目はありませんでした。また、評価で1または2がついた項目がありましたが、なぜ低い評価になったのか記述がありませんでしたので、今回提示する改善策がご期待に沿うものにならないかもしれません。学校としてはできる限りの対応を検討いたしましたので、ご理解いただければ幸いです。

【項目1】
あいさつについては、「元気に笑顔で」はずいぶんできており習慣化してきました。しかし、「自分から」「だれにでも」ということに対してはまだ十分にできているとは言えません。そこで、全校朝会であいさつの意義やメリットを児童生徒に考えさせ、児童生徒の中に「自分から」「だれにでも」あいさつをしていくことの必要感を芽生えさせていきます。また、本部運営委員会での取り組みとしても、あいさつについて児童生徒で話し合いました。その結果、1月の目標を「あいさつの仕方を見直そう」とすることに決まりました。今後、あいさつの仕方を見直すためにどんなことを行っていけるかを考えさせ、朝の時間を使って児童生徒が主体となって進めていけるようにします。

【項目8】
本校の校舎は築20年が経過し、地盤沈下の影響もあり、校舎の壁のいたる所に亀裂が入っています。これについては、外務省の校舎特別修繕事業の援助を受け、毎年修繕を行っており、今年度は1階の全ての壁と天井の亀裂の補修と塗装を行い、来年度2階の修繕を行う予定です。また、木製の掲示板やドアなどに住みつく害虫により、木製部分がかなり喰い荒らされています。シロアリ駆除業者にも駆除を依頼しましたが、この害虫にはほとんど効果がないらしく、一向に改善が見られません。これを修繕するには掲示板の取替等、抜本的な対応をとる必要があり、膨大な経費がかかります。本校の現在の学校運営状況ではそこまでの余力はありませんので、殺虫剤の注入等の対処療法的な措置しかできないことをご理解ください。その他の部分については職員を中心に学習環境の整備に努めていますので、ご承知おきください。

【項目9】
学校では、新型コロナ感染対策に加え、デング熱対策にできる限りの対策を講じ取り組んでいるところですが、新型コロナの感染症対策とデング熱対策で、教室の換気のため窓やドアを開けると教室に蚊が侵入する等、相反する対応になることもあり、対策に苦慮する場合もあります。どちらの対策にもなるよう、今後は授業中は窓とドアを閉め、休み時間のみ開けて換気を行うことにします。また、新型コロナ対策では屋外での活動がよいのですが、蚊が大量に発生する時期は、屋外での活動を必要最小限にし、屋外出る場合は防虫スプレーの塗布をきちんとできるよう、塗布の仕方の指導を確実に行っていきます。その他以前より各教室内にGood Knight（蚊よけ） の設置、廊下等、人体への影響が少ない場所には蚊取り線香を設置していますので、ご承知おきください。foggingについても蚊の発生状況を見ながら、散布の回数を増やしていく予定です。

【項目12】
休校時のオンライン授業については、今後再びが行われることになった場合は、今まで以上にわかりやすく楽しい、質の高い授業を進められるようするため、オンライン授業が始まってある程度の期間が経過した後に、オンライン授業について要望がないか等、アンケートや面談を行う機会を設定していきます。また、オンライン授業が続き、基本的生活習慣が乱れやすくなっている状況が見られたため、「生活習慣チェック」を毎日行い、改善を図ってきましたが、なかなか改善が見られなかった児童生徒がいたのも事実です。今後同様のオンラインでの授業となった場合は、より具体的に起床時間等の数値を設定して、子供たちの意識を向上させるとともに、ご家庭のご協力が必要不可欠ですので、よろしくお願いします。

【項目14】
学校では、子供たちの「表現力の育成」をねらいとした研究を推進しているところで、子供たちへのアンケート結果からも、この取組により子供たちの表現力はかなり身についてきていると分析しています。また、「自ら学ぼうとする力」の育成については、授業での子供たちの学ぼうとする意欲は、かなり身についてきていますが、家庭での学習については、まだまだ個人差があるのが実情です。今後は、子供たちが「もっと調べてみたい、もっと難しい問題に挑戦したい」等と思えるような授業の工夫を目指していきます。

【項目15】
本校では、英語力を高めるため、3つの取組を行っています。一つ目はECの授業です。ECでは、聞くこと、話すことを中心にしたアクティビティをそれぞれのレベルに応じて進めています。また、英語でのプレゼンテーションも定期的に行い、表現力をより向上させる取組も行っています。今後は、児童生徒の英語力がより効率的に向上するように、3つのコースごとに現在の学習内容を見直すとともに授業で作成した成果物を掲示するなど、他のコースの児童生徒にも紹介し、お互いに切磋琢磨できる環境を作っていきます。二つ目はCTEの授業です。CTEでは、読むこと、書くことを中心にした演習をそれぞれのレベルに応じて進めています。下の学年では定期的に小テストを取り入れ、上の学年では英検を一つのターゲットとして同様の問題形式での取組も行っている他、身についた力を確認するため、実際の英検に準じたテストを年度末に実施する予定です。三つ目はイマ―ジョン教育です。イマ―ジョン教育とは、英語の授業以外の教科等で英語を使って授業を行うことで、本校ではキャンディアンダンスと水泳の授業で現地講師による英語での指導を行い、英語で学ぶことによって「英語で考え、英語を話す力」をさらに身につけさせることを目的に実施しています。ただ、新型コロナ禍により、ようやくキャンディアンダンスが始まったばかりで、水泳については3学期からの開始になったため、まだまだイマ―ジョン教育の成果が現れていないのが現状です。

【項目18】
本校では、各学期ごとに生活アンケートとそれをもとに教育相談を行い、その結果を職員間で共有し、その後の指導に生かしています。また日常的に教員間での情報交換を行い、生徒指導上で気になる問題が起きた時は迅速に対応しています。もしお子さんの件で何か心配な点や気になる点等がありましたら、いつでもご相談ください。

【項目19】
本校では、学校・家庭・地域社会が力を合わせて子供たちを育てていく「協育」を推進しています。特に学校と保護者が力を合わせていくことが大切で、そのために学校とPTAが情報交流を密に行い、学校改善に生かしています。この項目で「そう思わない」と判断された内容についてお知らせいただければ、さらに学校改善につながりますので、お気軽にお知らせください。

【自由記述に対する回答】

●平素より大変お世話になりありがとうございます。①の挨拶について、普段の様子を見ると、他の人に対してちゃんと挨拶をしていないのが、気になっています。 小さい頃から注意をしてきましたが、全く改善される様子がありませんし、家族が注意すると反発してきて逆効果になっています。先生から注意していただくとありがたいです。
A：前述の「項目１」でお答えした通りです。学校でも挨拶の大切さについてしっかりと指導していきますが、ご家庭でも「きちんと挨拶をしなさい」という押しつけではなく、挨拶の大切さ、挨拶された時の気持ち等について、常日頃からご家庭で話題にしていくとよいかもしれません。

●文章力が弱いと感じており、自宅学習も行っていますが日記や作文が増えるとありがたいです。
A：「もっと書く力を高めてほしい」という要望があることを教員間で共通認識し、各クラスで、国語の授業や宿題等で書く力を高める活動を積極的に設けていくように努めていきます。

●今年は特にデング熱が多く発生しておりますので、感染症予防のみならず、デング熱にも対策をもっと取って欲しいです。
A：前述の「項目９」でお答えした通りです。学校では、今できる最大限の対応をしていますので、ご理解ください。

■用務員さんの契約されている仕事内容を保護者も把握したいなと思いました。
A：この質問に対しては、何の目的で必要なのかわかりませんが、本校の用務員も日本の学校の用務員の職務とほぼ同じで、「用務員は、校舎内外の清掃、物品整理、修繕、スクールバス添乗等の学校運営に関わる用務を全般を行う」となっています。

〇学校の対応については、とてもきめ細かくしっかり対応して下さっていますので、大変満足しています。 娘も学校が大好きで、毎日楽しく登校しています。どうもありがとうございます。
〇メール等で個別な相談などにも対応していただけて、心配・不安なく通学することが出来ています。
〇コロナ対策に加え、デング熱の対策、環境整備に努めていただき大変感謝しております。
〇いつもお世話になっております。コロナ禍による休校、オンライン授業など目まぐるしい環境の中、子供達への教育に迅速に対応していただきありがとうございます。おかげさまで元気に楽しく登校している姿を毎日頼もしく見ることができます。いまの環境でしか体験できないことなど、貴重な時間を過ごすことができてありがたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
〇特にありません。よろしくお願いします。
A：大変うれしいお言葉をいただきありがとうございます。そう思っていただけるだけで我々教職員一同励みになり、これからも頑張ることができます。